



## チューモくん日記 #クイックロービジョンケア～雨の日に～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

このシリーズでは、本校の相談支援活動でよく耳にする、生活上の不便さに関する話題から、対応策を紹介して喜んでいただけたものを紹介していきます。

多くの方が、雨の日の移動には不便を感じていると思いますが、見えない・見えにくい人にとっては、右手に白杖、左手に傘と、両手が塞がって、より大変だと聞いています。

そんな状態で、乗用車に乗り込むための行動を考えてみましょう。

白杖を持った方の手でドアを開ける。傘を閉じる。背中にリュック等を背負っているので、とりあえず片方の肩から外す。車内で引っかからないように、白杖を折りたたむ。乗り込む。

晴眼者であれば、片手で傘を持ちながらドアを開け、手に持ったかばんなどを、とりあえず車内に置き、自分の体をシートに座らせつつ傘を閉じるというごきで、あまり雨に濡れないようにできますが、両手が塞がり、背中に荷物を背負っていると、どうあっても、雨に濡れる時間が長くなります。

「だから、雨の日はいやなのよ」と、チューモ君日記ではおなじみの弱視の職員ニムラさん（仮名）もぼやいていました。

少しでも雨に濡れる時間を短くできないかと考えていたところ、百円ショップで、「かさ固定用マグネット」というものを見つけました。



傘の骨の先端に、強力なマグネットの付いたストラップを取り付けておくと、車の屋根にくっつき、柄の部分が入り口に引っかかって、屋根が張り出した形になるというものです。

これなら、手を離して、背中から荷物を下ろしたり、白杖をたたんだりすること

が、濡れずにできそうです。

手近な傘に取り付けてみました。

傘の骨にゴムを通し、露先（傘の骨の先端部）にシリコーンのリングをはめるだけ。

使うときは、車のドアを開き、屋根とドアに傘を載せます。

風がなければ、これだけでも引っかかっていますが、屋根の上にマグネットで固定されていることで、多少の風が吹いたり、体にぶつかったりしても、安定しています。



傘をたたんだ状態のときは、スチールの下足棚などに立てかけておくときなども便利です。



視覚障害者用に開発された高価な支援機器でなくても、自分にとって使いやすい道具を探すと、生活の中のちょっとした困りごとを解決することができます。

使い勝手は、それぞれの人によるので、「絶対にこれが一番」というものではありません。紹介した商品を参考にしながら、自分にとって使いやすいものを探してみてください。

